



博多あん通信

第4号 2008年9月22日 発行
博多あん(安全)・あん(安心)リーダー会
〒810-0041 福岡市中央区大名2-6-46
市立青年センター5F
福岡市NPOボランティア交流センターBOX 52番

博多あん・あんリーダー会「九大生に活動を紹介」

去る6月4日(水)、九州大学六本松キャンパスにおいて、NPO、ボランティア及びインターンシップ等の果たす役割や、地域社会、自治体及び企業等との連携のあり方などを研究する全学年対象の総合科目「社会連携活動論」(小湊卓夫准教授、受講生15名)の非常勤講師(松本事務局長)に招かれ、池田・鹿毛両代表幹事以下6名の会員でDIGの実習を含めた当会の活動を紹介してまいりました。

この取り組みは、「博多あんあん塾」や「よみうり防災セミナー」の講師としてお馴染みの加留部貴行先生(九州大学特任准教授)の推薦により実現したものです。

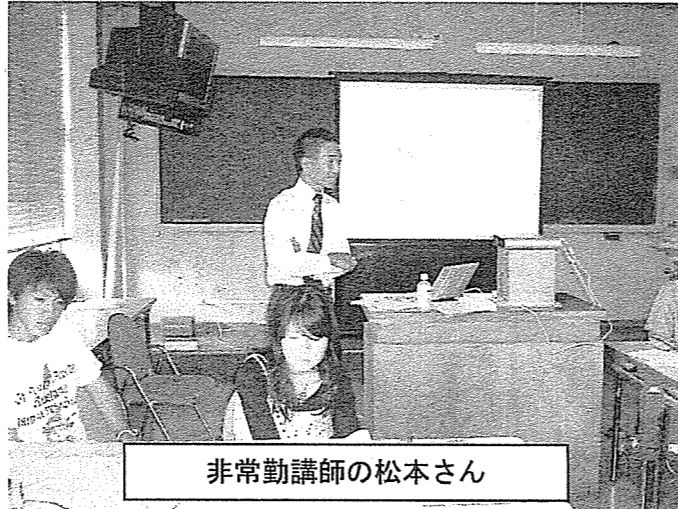
90分にわたる授業のうち、前半を当会の設立趣旨や活動の概要、活動を通じて学んだこと等の説明に充て、後半は六本松地区を中心としたDIGを体験してもらいました。

時間の制約もあり、通常のDIGと比べるとダイジェスト版に圧縮せざるを得ませんでした。県内外から就学のために大学周辺に住んでいる学生さんたちも、地域防災の視点から地域の特徴などを考えることは新鮮な発見に満ちていたようで、また意外に自分たちの街を知らないことに驚いている様子でした。

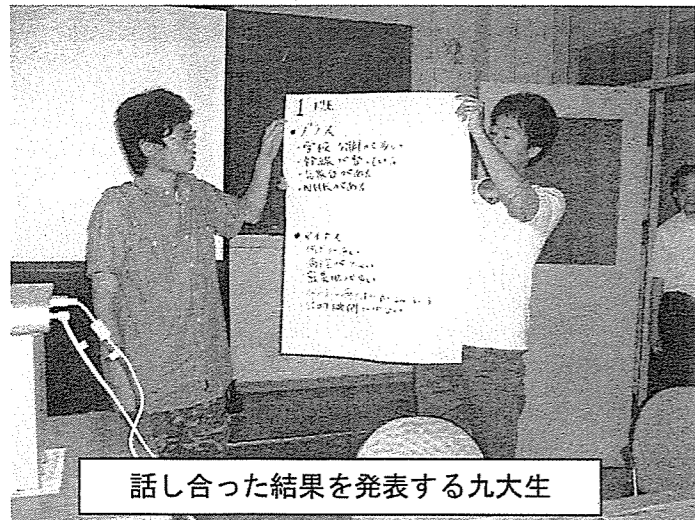
今回の講義は、数あるボランティア団体による地域活動のケース・スタディ(事例研究)のひとつとして、考察の一助に供したに過ぎませんが、真剣に議論する学生さんたちの目の輝きを見るにつけ、このような若いエネルギーと高い意識を持つ若者たちへの啓発活動が、近い将来、まちづくりや地域防災活動に参画していく機運を醸成する契機になれば良いな・・・と思いました。

特に、今後ますます高齢化が進んでいく一方、昼間人口が博多地区や天神地区など都心部に偏重しがちな福岡都市圏の地域社会においては、気力・体力ともに充実し、学習意欲も高い若者や子供たちは地域の宝です。これからも、大学生に限らず、広く学生さんたちに当会の活動や地域防災についてお話しできる機会があれば、積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

【松本 淳也】



非常勤講師の松本さん



話し合った結果を発表する九大生

藤末さんご苦勞さまでした！大変お世話になり感謝、感謝です。

「よみうり防災セミナー(YBS)事務局長の藤末 金矢さんが6月末日付で読売新聞社を定年退職されました」

お礼のことは

藤末様には、リーダー会とYBSとの良好な関係作りと共に、揺籃期のYBSを先頭に立って旗を振り、行動し、今日の地域密着型「まちづくり」と連動したYBSづくりにご努力されました。また、その行動力は、我々にとっても「人生のカガミ」でもありました。

更に、リーダー会にとりましては天稟の明るいご性格と、度量の広さで多々のご示唆をいただき、会にとりましては欠かせぬ存在(参与)でありました。

ご退職は寂寥感いっぱいです。リーダー会として大変お世話になりましたこと、衷心よりありがたく、厚くお礼申し上げます。

退職後は永年の新聞拡販の経験を活かし、業界関係企業にて「新聞人として新聞拡販は男のロマン・・・」として再び活躍するとのこと。新しい環境の下での人生第二のスタート、ご健康をくれぐれもご自愛いただき、飛翔されます事を心より祈念いたします。

【池田 昭】

風香り緑萌え花匂う季節の頃、長年に亘り読売新聞社でご活躍され無事ご定年を迎えられましたこと、大変ご苦勞様でした。「防災士」という肩書きがなければ部長とよみうり防災セミナー「出前講座」や諸々お手伝いさせて頂く事ありませんでしたが、そのようなご縁で約1年半大変お世話様になりました。心より感謝申し上げます。

各地区の公民館へ道具の間に挟まれながら出かけたのが昨日の事の様です。楽しかったですね。何とか無事に此処まで来られましたのも新聞社の皆様に「金ちゃん 金ちゃん」と声を掛けられる気さくで明るくて面倒見がよく人情肌で情に脆い尚且つエネルギーに満ち溢れたお人柄の賜物ではないでしょうか。その結果が今此処に新たな第一歩となって福岡の街に広がりつつあります。更にパワーアップ出来ます様研鑽を重ねて参りたいと思っております。本当に有難う御座いました。

事務局でのコーヒータイムは楽しい思い出の1つです。又、時間が出来ましたら「Cafe de BOUSAI」へ是非お出かけください。お局がお待ち致しております(笑)。次のお仕事での益々のご活躍心よりお祈り申し上げますと共に、お身体に気をつけてお過ごし下さい。

【岩佐 明美】



博多あん・あんリーダー会有志による藤末さんの送別会(6/21)

★よみうり防災セミナー

知識・技能を地域社会に還元

5月11日(日) 「よみうり防災セミナー ! n春住公民館」

春住公民館で開催された「よみうり防災セミナー」には、自治会役員ら約60名が参加し、元福岡市消防局職員の見崎政行さんによる講演(地域防災活動の原点-校区自主防災会)、福岡市消防局中央消防署の森田浩章さんによる講演(ボラシリアリアリターターの役割-中越地震現場の体験から)に引き続き、震度の6強の地震を想定した災害図上訓練(DIG)を行いました。また、フアシリターターとしてリターター会から岩佐さんら9名が参加しました。災害図上訓練では、10名程度のグループに分かれ、地図を前に地域における強い場所、弱い場所などを探しあうとともに、避難路や用具などなすべきことを確認しました。

6月22日(日) 「よみうり防災セミナー ! n野多目公民館」

南区野多目校区(野多目公民館)にて、地元74名(小学生6名を含む)の参加のもと、九大大学院橋本准教授による水害「まさか!への備えを」及び地震関係の災害図上訓練が熱心に開催されました。



よみうり防災セミナー

★地域活動

5月30日(金) 「原中学校教師のための救命講座」<早良エリア支部>

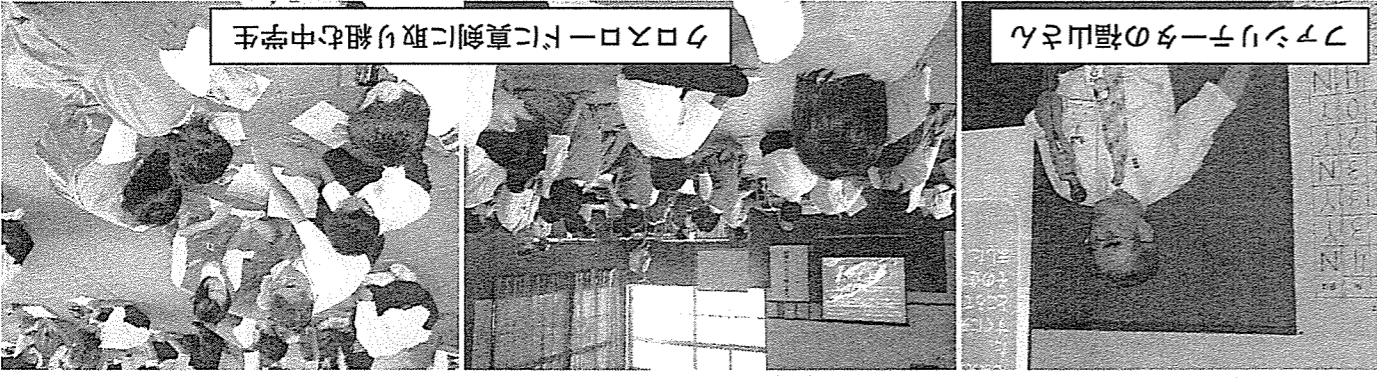
鹿毛さんから早良支部メンバー7名による「学校防災セミナー」を早良区の原中学校で開催し、教育実習中の学生を含む先生37名が参加しました。メイン講師は東京都山岳連盟遭難対策委員会の救助隊だった竹下さんで、先生方もいざいざというときに生徒達の命を守るため真剣に実習に取り組みました。

7月18日(金) 「子ども防災教室」<東エリア支部>

東区の香住丘小学校の留守家庭子供会で「防災教室」を開催し、1年生～3年生の91名が参加しました。子供達は、大雨による洪水の様子や地震で崩壊した道路、燃え上がる家屋等の災害映像に衝撃を受けた様子でした。この防災教室は、留守家庭子供会の保護者でもある博多あん・あんリターター会員の提案に子供会指導者、福岡市防災危機管理課、リターター会の仲間が協力して実施したものです。

9月12日(金) 「中学生向けクロスロード研修」<博多エリア支部>

博多エリア支部では、定例会でクロスロードゲームを中・高生向きに内容の検討を昨年末から取り組み、小森支部長が中心となって実施に至りました。福岡市立東住吉中学校の1年生(60名)に対する、博多あん・あんリターター会主催の研修会には鹿毛会長ほか9名が参加し、地元博多エリア支部の福山さんがフアシリターターを担当しました。



フアシリターターの福山さん

クロスロードに真剣に取り組む中学生

※ クロスロード研修を受けた中学生のアシキート結果も同封しています。

●9月13日(土) 博多あん・あんリターター会 会員向け研修会(第1回)実施(詳細は次号)

研修テーマ: 地域防災講義及び災害図上訓練(DIG)「浸水編・中級」

●9月21日(日) よみうり防災セミナー ! n早良公民館(詳細は次号)

今後の予定

●10月4日(土) よみうり防災セミナー ! n鳥飼公民館

●11月23日(日) 博多あん・あんリターター会 会員向け研修会(第2回)予定

研修テーマ: 頻発する内陸直下型地震と福岡警固断層の被害予測(予定)

講師 磯 皇 教授(西南学院大学人間科学部)

お知らせ

●博多あん・あんリターター会のEメールアドレスが下記のアドレスに変わりました。

新アドレス:s-anan@yomiuiri.com

編集後記

先日の早良区公民館での「よみうり防災セミナー」に初めて参加しました。地震を想定したDIGでは、それぞれの班で活発な意見がだされ、防災におけるコミュニケーションの重要性を再認識しました。このような地道な防災の種まきが、いつかきつと大きな実を結ぶと信じています。これからも皆さんと共に頑張っていきたいと思います。(別府)